

あなたの声が聴きたい  
あなたとことばを交わしたい—



三位一体の神と語らう  
祈りの作法

Asaoka Masaru  
朝岡勝

いのちのことば社

# 三位一体の神と語らう 祈りの作法

朝岡勝 著

「祈る」という行為とは、いったい何なのか。神との交わり、語らいと表現される「祈り」の世界。「御父・御子・聖霊」なる三位一体の神との「豊かな語らい」である祈りに焦点を当てつつ、私たちに与えられた「恵み」として祈りをとらえ直す。13の「祈りの作法」に加え、「朝の祈り」「試練の中の祈り」など、日々の中で実際に祈れる9つの祈りも収録。

朝岡 勝（あさおか・まさる）

1968年、茨城県出身。東京基督教短期大学、神戸改革派神学校卒。日本同盟基督教団市原平安教会牧師。著書に、『ニカイア信条を読む』『ハイデルベルク信仰問答を読む』『増補改訂「バルメン宣言」を読む』『喜びの知らせ』『光を仰いで』『信じること、生きること』ほか（以上、いのちのことば社）、『教会に生きる喜び 牧師と信徒のための教会論入門』（教文館）ほか。

四六判 216頁 定価1,760円(本体1,600円+税)  
ISBN978-4-264-04518-2 C0016  
いのちのことば社 卸コード 14135